

認知症新薬 2 剤目承認

ドナネマブ 11月にも保険適用

厚労省

厚生労働省は24日、米製薬大手イーライリリーが開発したアルツハイマー病治療薬「ドナネマブ」(商品名ケサンラ)について、製造販売を承認した。原因物質を脳内から除去するタイプでは「レカネマブ」(同社製)に次いで2剤目となる。薬価(薬の公定価格)の審議を経て、11月にも保険適用される見通しだ。

ドナネマブは、患者の脳内に蓄積する異常なたんぱく質「アミロイドβ(Aβ)」の塊を取り除き、病気の進行抑制を狙う。対象

は、認知症の前段階となる軽度認知障害(MCI)を含むアルツハイマー病の早期患者で、点滴で月1回、最長1年半投与する。1年をめぐりに検査し、Aβの塊が消えたことが確認できれば、投与をやめられる。

また、大塚製薬のうつ病などの治療薬「ブレクスピプラゾール」(商品名レキサルテイ)について、アルツハイマー病が原因となるアルツハイマー型認知症に伴う暴言や暴力などの治療に使えるようにする適応拡大を承認した。